

「自らすすんで！」

神奈川県横浜市
通所介護 ツクイ横浜三保
菊池 友香

1 はじめに

これまでのデイサービスは、お客様ができることも介護職員が先行してお手伝いしてしまう傾向が強くありました。

またお客様が選択するまもなく決められた内容を「お客様にとって良いもの」と勝手に思い込み提供してきました。

そんなデイサービスを一層し『ツクイ横浜三保』では、「自らすすんで！」をスローガンに自ら選択・自ら行動を実践していただいております。

その一部をご紹介します。

2 事例や取組みの紹介

① 給茶機の活用

フリードリンクの提供をしております。

好きな時間にお好きな飲み物を自身で取りに行く。

取りに行けない方は、取りに行ける方が助けてあげる。

コーヒーをコップに入れる事はできないけれど砂糖とミルクは混ぜられる。

できる方ができる事を・・・できない方はできる事を探します。

② 新規のお客様対応をお客様が・・・

ご見学や初めてご利用されるお客様に既存のお客様が対応。

ほとんどの方が緊張して来所されます。そんなお客様にそっと話かけてくださり、緊張をほぐしてくれます。

お客様同士だからこそ心地よい安心感があるようです。

対応して下さったお客様からは「この歳になっても営業マンだよ、まだまだ現役だな！」ととても嬉しそう。

③ 脳カトレーニングの選択

朝の脳トレーニングは巧緻動作訓練・数独・ペン字・・・数ある中からご自分のお好きなものを選択し行って頂く。

昔部品工場に勤められていた方。片方の手が使えなくてもボルトは回せる。

学校の先生だった方は、現在の高校受験問題にチャレンジ！車椅子でもう一度教壇に立とうかな？

まだまだできる自分に気がつきます。

④ イベントも「自らすすんで！」

月に2回以上あるイベントでは「食イベント」と題し、お客様自身が作った昼食やおやつを自身で召し上がるといった内容を提供させて頂いております。

特に自宅では家事をされない男性がピザやうどん、おはぎなどを作って、召し上がって頂いております。

はじめは少し抵抗があったようですが、現在では施設で作ったうどんをご自宅でも作られご家族様が驚かれておりました。

また「父の意外な一面を見ました」とうれしいご報告を頂いております。

⑤ 機能訓練だって・・・

脳梗塞により不完全麻痺となったお客様。

これまでは機械にて入浴されておりましたが、一般浴で「大きなお風呂に入りたい」との強い希望があり、機能訓練を実施。こちらが決めるのではなくお客様が目標をたて機能訓練の内容を選択。現在では一般浴にてお風呂の時間を楽しまれております。

また車椅子となってしまったお客様からも「麻痺になってからは一度も自家用車でドライブしたことがないんだ。外出は介護タクシーを利用して行く通院だけだよ」と。

早速運動プログラムを実施し反復的動作訓練に車椅子から車の助手席への移動訓練を開始。現在では軽自動車であれば杖歩行で車まで移動し、その後助手席へほぼ一人で移動できるようになりました。

「次の目標は送迎車のハイエースに車椅子ではなく座席に座れるようになりたいなあ・・・」自ら次への目標を立て前に進まれています。

3 考察

ご利用当初は、「こんな身体になってしまっていて人生終わりだよ」や「皆に迷惑ばかりかけて何もできなくなってしまった」とおっしゃられるお客様が多くおります。

しかしまだまだできる事は沢山あります。それに気付かせてあげる。

それを実際に行い自信や目標につなげる事が今の福祉の現場では求められている事だと思います。自信や目標が自分らしい生活を送る第一歩となる為に・・・

4 終わりに

受け入れる私たちスタッフも意識を変えていかなくてはなりません。

ツクイ横浜三保ではお客様が笑顔で生きがいを感じられる。

そんなサービスを提供し続けたいと思います。

「自らすすんで！」それが生きがいに・・・